

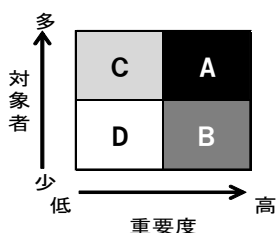
◆各圏域における地域ケア会議開催回数（令和2年度）

	個別	圏域
南部	6	2
小牧	9	0
味岡	0	0
篠岡	2	0
北里	4	0
計	21	2

◆圏域別地域課題

個別地域ケア会議や圏域の地域ケア会議から見いだされた地域課題

【分類の仕方】



A(対象者が多く重要度の高い課題)

：あらゆる機関が連携して、早急に対応しなければならない課題

B(対象者は少なくとも重要度の高い課題)

：個別支援を中心に課題解決し、その手法を地域で共有して、今後対象が増えた時に対応すべき課題

C(対象者は多いが重要度の低い課題)

：課題の優先度は低いが、対象者が多いことを考慮して予防措置を取る必要がある課題

D(対象者が少なく重要度も低い課題)

：现阶段で解決策を見つけることで、最小限にくい止めることができる課題

通番	包括	内容	分類
1	南部	一人暮らしで認知症の疑いがあり、地域での見守りが必要。	A
2	南部	障がい福祉相談事業所、介護保険サービス事業所等の関係機関との情報共有。	B
3	南部	集いの場がない。（認知症予防、介護予防、閉じこもり予防のため）	/
4	南部	認知症の方の面倒を夫だけでみるの高齢のため限界がある。	A
5	南部	家族支援が困難な認知症の方で理解力の低下や金銭管理ができない。	B
6	南部	ふれあい・いきいきサロンか認知症カフェの設立へ向けて。	/
7	南部	認知症の方の家族介護者が本人とは別居のため地域住民との関係が薄い。地域住民と家族介護者の関係性が良い状態とはいえ、本人、地域住民、家族介護者それぞれに良くない状態が続いている。	D
8	南部	認知症の方で一人暮らしが困難な状況にある。	B

通番	包括	内容	分類
9	小牧	高次脳機能障害のため、災害時に一人で避難できない。	B
10	小牧	ひとり暮らし高齢者が利用できるサービスや制度の周知が足りない。	A
11	小牧	担当ケアマネジャーへの精神的支援、関係機関情報共有。	B
12	小牧	本人・長女と夫・次女の思いが異なり、家族内の関係が悪く、関係機関へ苦情の電話を繰り返し入れる。	B
13	小牧	コロナ禍におけるサロン参加者の減少、社会参加意欲の低下、他サロンとの情報共有。	A
14	小牧	金銭管理ができない、返納などその他書類・手続申請等の代行者がいない。	B
15	小牧	成年後見制度の活用、関係機関の情報共有。	B
16	小牧	認知症の方のひとり歩き、地域での見守りが必要。	B
17	小牧	酒浸りから生活意欲の低下、外出機会の減少。	B
18	篠岡	ごみ屋敷化しそうな家がある。ハエがたかり、庭にごみが散乱し臭う。	B
19	篠岡	経済的に苦しく就労支援が必要な方について関係機関が集まり情報共有。	B
20	北里	介護認定のある両親と障がいのある妹を介護する姉も含めた本人及びその家族への支援。	A
21	北里	統合失調症・強迫神経症の長男とその両親への支援。両親は別居を希望しているためその住まいの確保。経済的に余裕はなく、借金の整理も必要。長男への成年後見制度の活用も検討しつつ、地域で孤立した世帯となっているため、両親亡き後の長男への支援も必要である。	A
22	北里	一人暮らしで高次脳機能障害のある方の金銭管理、成年後見制度の活用及び、経済的自立が可能な住居の確保。	B
23	北里	幻聴、幻視等の精神疾患が疑われ親族とは繋がりが薄い。	B